

関西学院初等部 5年 家庭科 シラバス 〔保護者用〕

◇5年家庭科の目標

- ・食育を基礎においた身近な衣食住に関する実践的・体験的な基本となる活動を通して、自分と家族や家庭生活とのかかわりについて関心を高める。
- ・よりよく生活するために必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、自分にとって家族や家庭は大切な存在であることを感じながら家族の一員として生活しようとしたり、生活をよりよくしようとする基礎的で実践的な態度を養う。

◇5年家庭科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<p>○家庭科の学習を始めよう</p> <p>◎見つめよう！家庭生活</p> <p>○わたしと家族を見つめよう</p> <p>○できる仕事から始めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の仕事を見つめてみよう ・手順を考えて安全に調理しよう ・針と糸を使ってみよう <p>○地域の人とのかかわりを考えよう</p>	<p>○家庭科の学習内容・目的・方法を知ります。家庭科学習への関心や意欲をもてるようにします。</p> <p>○家庭には様々な仕事があることを家族の様子調べから気付くようにします。そして、楽しくあたたかい家庭生活のためには、家族は支え合いが大切であることを感じ取り、実際に家事を分担します。</p> <p>○お茶の入れ方、調理道具の使い方、裁縫道具の使い方などの実習を行います。家庭生活で必要であり、かつ、基礎的・基本的な知識や技能を身につけます。</p> <p>○実習で学んだことをもとにして、家庭内でも進んで取り組めないかを考え、実践します。進んで家族の一員としての役割を担おうとする気持ちを育てる学習です。</p>
二 学 期	<p>◎ぬって作ろう 楽しい生活</p> <p>○身の回りの布製品を見つめよう</p> <p>○ミシンを使って楽しく作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の計画を立てよう ・ミシン縫いにチャレンジしよう <p>○作った作品を楽しく作ろう</p> <p>◎おいしいね 毎日の食事</p> <p>○毎日の食事を見つめよう</p> <p>○ご飯とみそ汁を作ろう</p> <p>○食べることの大切さを考えよう</p>	<p>○布でできているものに興味や関心をもち、自分でも作ってみたいという意欲をもつために、身の回りの布製品を調べます。</p> <p>○ミシンの安全な使い方を知り、直線縫いの練習をします。ミシン縫いの特徴や利点、手縫いとの違いなどを確認します。</p> <p>○道具を安全に使うことの大切さや、ものづくりの楽しさを実感するために、ミシンの利点を生かして、エプロンやお弁当包みなどの生活に役立つものの製作をします。</p> <p>○自分の食生活に関して興味・関心をもち、1日に食べたものを振り返る活動をします。</p> <p>○調理方法の特徴を知ります。調理実習の進め方や大切なポイントを学び、実際に料理活動をします。</p> <p>○食べることの必要性を知り、家族や友だちと食事をすることの楽しさを実感します。また、自らの食生活を工夫しようとする姿勢をもてるように、なぜ食べるのかをみんなで考えます。</p>

<p>三 学 期</p>	<p>◎物を生かして住みやすく</p> <p>○身の回りの物を見直そう</p> <p>○身の回りを使いやすくしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理・整とんをしよう ・そうじをしよう <p>○物を生かす生活をしよう</p> <p>◎考えよう 買い物と暮らし</p> <p>○お金の使い方</p> <p>物の選び方を見つめよう</p> <p>○計画的に買い物しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に買う工夫 ・買い物の計画を立てよう <p>○買い方を振り返ろう</p> <p>◎五年生の学習をふりかえって</p>	<p>○持ち物に関心をもったり、身の回りを快適に整えようとする思いをもったりするために、自分の持ち物調べをします。</p> <p>○教室の整理整頓や掃除を、手順や方法を考えて行います。整理整頓の必要性や、気持ちのよい住み方の工夫を知り、自宅でも実践しようとする思いをもつ学習です。</p> <p>○家庭での不用品の活用方法やごみ処理の仕方を調べます。地域や環境に配慮した不用品の処理の仕方を知り、実践します。</p> <p>○自分のお金の使い方を調べる活動を行います。お金を計画的に使うことの重要性を知り、目的にあった品物選び方や見直しをもった物の買い方をする学習です。</p> <p>○五年生の学習をふりかえり、家族の一員として自分が成長していることに気付いたり、学習を通してできるようになった自分に喜びを感じる学習です。</p>
----------------------	---	--

◇指導の工夫

<食育・生活科・体育科（保健領域）との関連性>

- ・3年から6年までの体育科（保健領域）で各学年とも年間6時間の「体と生命」の授業が展開されます。家庭科においても体育科の単元と関連させ、各学期に食に関する単元と調理実習を取り入れ、心身ともに健康に生きるためには食生活が密接に関係していることや、食事ができることへの感謝の気持ち、食事と家庭生活の関連性などを習得していきます。

<家庭との連携>

- ・各単元で家庭でも実践できる活動を取り入れ、家族の一員としての自分を見直したり、家庭での自分の役割を見つけたりして、進んで実行できるような態度を育てるようにします。

<実習活動>

- ・多様な実習活動を取り入れ、家庭生活で自立して生きるために必要な技能を身に付けるようにします。

◇評価の観点

- ・自分自身の家庭での生活に興味や関心をもとうとしているか。
- ・家族の一員としての自分があることに気付いているか。
- ・学習や実習活動に興味をもって取り組むことができるか。
- ・学習を生かして、自分の生活を振り返り、よりよいものにしようとするすることができるか。
- ・家庭生活に必要な基礎的知識や技能を身に付けているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新編新しい家庭5. 6』（東京書籍）、ワークシート 等

◇保護者のみなさまへ

- ・家庭科の学習では、自分自身と家庭生活とのかかわりについて考え、家族の一員としての自分の存在を自覚する態度を育てていきます。学習の際には、保護者のみなさまにも積極的に学習活動への参加を協力いただくことがあります。その際には、ご協力をよろしくお願いします。
- ・家庭科の学習では、学習したことを家庭生活でも生かして実践する態度を育てていきます。ご家庭においても、子どもたちとともに活動したり、アドバイスをしあげたりしてください。

関西学院初等部 6年 家庭科 シラバス 〔保護者用〕

◇6年家庭科の目標

- ・食育を基礎においた身近な衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、自分と家族や家庭生活、地域社会とのかかわりについて関心を高める。
- ・よりよく生活するために必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、これまで家族に大切にされて生活してきたことへの感謝の気持ちを感じながら家族の一員として生活しようとしたり、地域社会の中で生活しようとしたり、それら生活をよりよくしようとする実践的な態度を養う。

◇6年家庭科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<p>◎見直そう 食事と生活のリズム</p> <p>○毎日の生活をふり返ろう</p> <p>○朝食のとりかたを見直そう</p> <p>○健康的な生活を考えよう</p> <p>◎工夫しよう！さわやか生活</p> <p>○夏の暮らしを見つめよう</p> <p>○衣服の着方と手入れを工夫しよう</p> <p>○快適な夏の暮らしを実践しよう</p>	<p>○自分の生活時間を見直す活動をします。時間を有効に使うことの大切を感じ、家族との団らんにも協力する気持ちを持ち、実践します。</p> <p>○自分の食事の組み合わせを調べ、食事のバランスの大切さを学ぶ学習です。</p> <p>○作り方や調理のポイントを調べ、調理計画を立てたり工夫して調理したりします。</p> <p>○食品をバランスよく食べることの重要性を知り、栄養的によりよい食事の献立や食事の仕方を考え、実践します。</p> <p>○身の回りで、暑い季節を気持ちよく過ごすための工夫を見つけます。自らでも実践できることを考え、実行します。</p> <p>○衣服のつくりやはたらきを知ります。目的に応じた衣服の着方を工夫します。</p> <p>○衣服の手入れの必要性や洗濯のポイント、手順などを知り、日常着の洗濯の実習をします。</p>
二 学 期	<p>◎思いを形に 生活に役立つもの</p> <p>○生活の役立つものを作ろう</p> <p>○思いを形にしよう</p> <p>○作ったものを使って確かめよう</p> <p>◎まかせてね！きょうの食事</p> <p>○一食分の献立を工夫しよう</p> <p>○家族が喜ぶ食事を作ろう</p> <p>○食事をもっと楽しもう</p>	<p>○これまでの学習を生かし、聖書カバーやナップザックなどの生活に役立つものの製作をします。自分なりに工夫をしたり、使い勝手を考えたりしながら作り上げます。</p> <p>○食事の献立作りをします。栄養的なバランスを考えて、食べ物を組み合わせることが必要であることを知り、献立作りに役立てます。</p> <p>○自分が初等部で食べるお弁当の献立を考え、調理実習をします。栄養や食品のバランスを考えたり、安全で衛生的な調理方法を確認したりしながら、お弁当を作ります。</p> <p>○家庭での食事の様子を思い出し、食事と家庭生活の関連を考えながら、楽しい食事になるような工夫を実践します。</p>
三 学 期	<p>◎工夫しよう 暖かな生活</p> <p>○冬の暮らしを見つめよう</p> <p>○暖かさや明るさを工夫しよう</p> <p>○快適な冬の暮らしを実践しよう</p>	<p>○季節の違いによる家庭での暮らし方の違いを調べます。季節変化に合わせた暮らしの工夫を見つけ、実生活に生かす学習です。</p> <p>○快適な住み方について、自分が調べてみたい課題を見つけ、その解決を図るために調べ、発表会をします。これまでの学習や友だちの発表を生かし、家庭でも快適な住み方の工夫を実践する思いをもちます。</p>

	◎これからの生活に向けて	<p>○これまでの家庭科の学習や自分の生活の変化や家族への思いの変化を振り返り、できるようになったことや家で実践したことをまとめます。</p> <p>○家庭での生活の様子をもとに、暮らしている地域で生活するためには、一人一人が自分の役割を考えたり、みんなで協力したりすることが必要であることを感じ取る学習です。</p> <p>○これまでの学習の成果を生かし、感謝の気持ちを伝える会食の準備をします。これまで成長を見守り、支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、自分なりに計画を立てて、会食をします。</p> <p>○これまでの家庭科の学習を振り返ります。今後も家族の絆を大切に、自分自身の生活をよりよくするために、さらに身に着けたいことや実行したいことを考え、意欲的に生活する気持ちをもてるようにします。</p>
--	--------------	---

◇指導の工夫

<食育・生活科・体育科（保健領域）との関連性>

- ・3年から6年までの体育科（保健領域）で各学年とも年間6時間の「体と生命」の授業が展開されます。家庭科においても体育科の単元と関連させ、各学期に食に関する単元と調理実習を取り入れ、心身ともに健康に生きるためには食生活が密接に関係していることや、食事ができることへの感謝の気持ち、食事と家庭生活の関連性などを習得していきます。

<家庭との連携>

- ・各単元で家庭でも実践できる活動を取り入れ、家族の一員としての自分を見直したり、家庭での自分の役割を見つけたりして、進んで実行できるような態度を育てます。

<実習活動>

- ・各単元で多様な実習活動を取り入れ、家庭生活で自立して生きるために必要な技能を身に付けるようにします。特に、家庭で何度かは自分のお弁当を自分で作るようにします。

<社会の一員として>

- ・今後も地域社会の中で生きていく一員として、環境や福祉にも目をむけることができる態度を育てます。

◇評価の観点

- ・自分自身の家庭や社会での生活に興味や関心をもとうとしているか。
- ・家族や社会の一員としての自分があることに気付いているか。
- ・学習や実習活動に興味をもって取り組むことができたか。
- ・学習を生かして、自分の生活を振り返り、よりよいものに工夫しようとしているか。
- ・家庭生活に必要な知識や技能を身に付けているか。

◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『新しい家庭5. 6』（東京書籍）、ワークシート 等

◇保護者のみなさまへ

- ・家庭科の学習では、自分自身と家庭生活とのかかわりについて考え、家族の一員としての自分の存在を自覚する態度を育てていきます。学習の際には、保護者のみなさまにも積極的に学習活動への参加を協力いただくことがあります。その際には、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・家庭科の学習では、学習したことを家庭生活でも生かして実践する態度を育てていきます。ご家庭においても、子どもたちとともに活動したり、アドバイスをしあげたり、温かい目で見守ってあげたりと、保護者のみなさまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・2学期には、自分のお弁当を自分で作る実習を予定しています。お弁当を作って、食べさせていただけることへの感謝と同時に、お弁当作りへの苦労や工夫があることにも気付かせたいと思っています。この学習を利用して、自分のお弁当を自分で作る機会を作ってみたいはいかがでしょうか。子どもたちへの声かけをよろしくお願いいたします。